



みやぎボランティア総合センターから防災とまちづくりを中心に様々な情報を発信します。

心通う災害支援を地域へ 災害弱者といわれる要援護者へ勇気づける支援を

特定非営利活動法人ドリーム・ゲートは、重度障害者の地域生活を支援する団体として、平成十九年に設立されました。名取市に事務所を構え、様々な事業を展開しています(下図参照)。居宅介護・重度訪問介護事業所『サポートクラブ未来』では、名取市・岩沼市・仙台市太白区の方を対象に介助者の派遣を行っており、現在は地域で生活する障害者七人を二十人の登録ヘルパーが支えています。また、「ドリーム・ゲート」の大きな特徴に、災害時の要援護者を支援する活動があります(平成二十一年八月スタート)。開始以来、注目を集めているこの活動について、法人理事の藤本さんにお話を伺いました。

地域や障害者の方々の役に立ちたいと願って

「災害時は、地域や障害者の方々に対して微力ではありますが支援を行っていききたいです」と話す藤本さん。平

成十六年に発生した新潟中越地震の際、災害ボランティアとして、瓦礫の撤去作業など、延べ十日間にわたり活動し「災害支援の大切さを身をもって感じた」と話します。

災害時には、福祉的避難所として事業所を開放するほか、事務所を個室で区切れるように予めパイプを組むなど工夫。その他、ベッドや災害用トイレ、飲料水なども用意しています。

「今後は、行政や地域の皆さんの理解や協力をいただきながら、万が一災害が起きた場合には、一時的であれ、障害者の方を含め地域の方々に、福祉的な避難所として利用してもらえたらと思っています。その他、必要に応じ、トイレ凝固剤・毛布・ベッド・工具などの提供も考えています。また、これらの支援を行うためには、現在のスタッフだけでは対応できないので、登録ボランティアを事前に募集し、災害時に備えていききたいです。」と、具体的なプランを語ってくれました。

福祉事業所は地域の資源 顔の見える関係を作って

災害時には行政をはじめ様々な公的機関や団体が組織的に支援を行います。しかし、被災住民すべてのニーズに個別に対応するのは難しいのが現状です。

そのような被災者ニーズを解決するため、福祉サービス事業者等の持ちうる能力を地域に提供することが大切で

「サポートクラブ未来」

公的な制度に基づいた介助派遣サービスを行っています。
(障害者自立支援法:居宅介護、重度訪問介護)
(事業所番号:0410700199)

その他の介護事業

「遠方に旅行したい」等の声にお応えする、別契約での有料介助派遣を行っています。

災害支援事業

大規模災害に備え、要援護者が安全に避難できるよう地区の方々と連携して防災訓練を行います。災害発生時には、関係機関・団体と連携し現地での復興支援活動を行います。災害時、ドリームゲート事務所を重度障害者のための避難所として開放し、障害者の生活の安定を図ります。

「地域生活サポートセンター」

地域での生活を目指している(既に地域で生活している)障害者に対し、訪問相談・情報提供など包括的なサービスを提供し、自立生活をお手伝いしています!

名取市バリアフリーマップ作成

名取市内の多目的トイレのある施設を訪問調査し、ブログで紹介しています!



▲左から田中理事長、藤本さん、大場さん

特定非営利活動法人 ドリーム・ゲート
名取市大手町2-1-3ひまわりビル101
TEL022(399)8374 / FAX022(399)8397
E-mail: u6676ws659t@asahi-net.or.jp
<http://blog.canpan.info/dreamgate>

みやぎボランティア総合センター
TEL 022(222)0010
FAX 022(217)9388

